

一般社団法人 こもろ観光局
KOMORO TOURISM BUREAU

体験と数字で振り返る「小諸の観光」

一般社団法人こもろ観光局では、観光を通じて地域に人と消費を呼び込み、市内経済の活性化につなげる「観光地域づくり」に取り組んでいます。令和７年度も、観光マーケティングデータの収集・分析をはじめ、小諸ならではの体験型旅行商品の造成、地域の伝統行事やイベントの支援、デジタルを活用した情報発信など、さまざまな事業を展開しました。数字と主な取り組みから、令和７年度の「小諸の観光」を振り返ります。

問　一般社団法人こもろ観光局　☎ 22-1234

01 数値で見る「小諸観光のいま」と地域を潤す経済効果（令和７年度）

１人１回あたりの旅行金額

30,750円

旅行者１人１回あたりの旅行消費額は **30,750円**で、前年比 **103.3%**となりました。この増加には宿泊や飲食、買い物、体験など地域での消費機会の広がりに加え、物価高騰に伴う宿泊施設や飲食店など各事業者の価格改定も要因の一つとして考えられます。今後も物価動向などの外部要因を踏まえながら、滞在時間の延長や消費の促進、地域ならではの体験・商品の充実などを通じて、観光消費が地域内の事業者に幅広く波及する観光地域づくりを進めていきます。

市内宿泊者数

176,359人

令和７年度の市内宿泊者数は **176,359 人**となり、**前年比 101%**と着実な増加を維持しています。「宿泊を伴う観光」は、市内の飲食店での夜間利用や小売店・お土産店での消費拡大にも直接つながります。小諸の街をじっくりと巡り、夜まで楽しんでいただく「滞在する観光」の推進により、地域全体へ観光の恩恵が行き渡る持続可能な観光地域づくりを引き続き目指していきます。

インバウンド宿泊者数

3,393人

外国人宿泊者数は **3,393 人**となり、前年比 **122.4%まで増加**しました。小諸市観光案内所への来訪者数においても、台湾が全体の 19.5%、米国が 8.5%を占めるなど、海外から小諸を訪れる旅行者も着実に増えています。

02 旅行者アンケートから見る小諸観光

令和７年度に小諸市を訪れた旅行者を対象にした調査（586 件）からも、小諸観光の特徴が見えてきました。

総合満足度

98.3%

「大変満足」「満足」「やや満足」を合わせた総合満足度は **98.3%**となりました。豊かな自然や歴史文化、温泉、食、地域でのおもてなしなど、小諸ならではの観光体験が高く評価されています。

リピーター率

81.4%

小諸市を訪れた観光客のうち **81.4%が「過去にも小諸に来たことがある」というリピーター**であることが分かりました。一度訪れて終わる観光地ではなく、季節を変えて何度も訪れたくなる小諸の自然、温泉、食、景観、文化などの魅力が、リピーターの獲得につながっています。

女性比率が６割！「夫婦・カップル」が約半数

回答者の男女比率は**男性４割・女性６割と女性の割合が高く**、小諸の歴史や街歩き、自然、食文化が女性層から高く支持されています。旅行の同行者は「夫婦・カップル」が 46%（約半数）と最も多く、落ち着いた大人の旅行スタイルが主流となっています。

30 代以下の若年層や子供連れファミリーも増加！

全体としては 50 代（28%）と 60 代（26%）を合わせた **50 ～ 60 代が約６割**を占め、中心となっています。一方で**「30 代以下」の割合は、2024 年度の 21%から 2025 年度には 24%へと増加**しました。「40 ～ 50 代」も若干の増加傾向にあり、あわせて子連れやひとり旅の利用が増えています。

03 心躍る「体験プログラム」と「伝統行事」

これからの観光に求められるのは、景色や施設を「見る」だけでなく、その土地ならではのストーリーや文化を「体験する」ことです。こもろ観光局では、小諸の自然、食、歴史、文化、人といった地域資源を活用し、小諸でしか体験できない旅行商品造成に取り組みました。

■ 小諸でしかできない「体験」を旅行商品に

01 観光列車「ろくもん」ほろ酔い列車ツアー



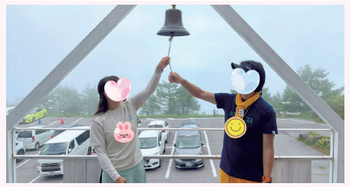
佐久地域振興局との共同事業として、しなの鉄道の観光列車「ろくもん」を貸し切り、小諸のワインや日本酒、ウイスキーや特製弁当を提供。こもろ観光ガイド協会による懐古園ガイドツアーを実施。小諸の食や歴史を楽しんでいただきました。【参加者】43 名

02 我が国最初の火山観測所跡を巡るツアー



気象庁・小諸市教育委員会との連携事業として、気象庁浅間山火山防災連絡事務所の事務所長 飯島氏をガイドに迎え、通常は許可なく立ち入ることのできない「我が国最初の火山観測所跡」を巡り、浅間山の歴史や火山防災について学ぶツアーを実施しました。【参加者】32 名

03 浅間山ボルケーノラブ活（婚活イベント）



浅間山を舞台とした婚活イベントを４回開催しました。累計開催回数 21 回、成立カップル 152 組、うち 13 組から結婚・入籍の報告。自然体験や交流を組み合わせた小諸ならではの出会いの場を創出しました。【参加者】137 名

■ 地域とともに受け継ぐ文化と行事

01 5月8日「浅間山開き」



浅間山の一年の安寧と登山者の安全を祈願する神事と祈念登山を実施。約 300 名が参加。登山ガイドによる「カモシカ見るまで帰れまてんツアー」も同時開催し、40 名が参加しました。

02 こもろ市民まつりにあばれ大獅子みこしが参加



小諸の夏の風物詩「こもろ市民まつり・みこし」に、観光局の「あばれ大獅子みこし」で参加しました。こもろ観光局会員事業者と小諸センゴク甲冑隊も加わり、市民や来訪者とともに、小諸の夏を盛り上げました。

03 北国街道小諸宿の「お人形さんめぐり」



小諸市、小諸商工会議所、本町りんどう会、こもろ観光局による新たな体制で開催。50 店舗以上が参加する周遊キャンペーンを実施。長年地域で大切にされてきた行事を、観光コンテンツとして次世代につなげています。

■ 公民連携のまちづくり＆大手門公園の空間づくり＆アートイベントの融合

01 大手門公園・まちタネひろば一帯の空間づくり



「まちタネひろば」を中心に、市民団体による屋外イベントが年間 59 件開催され、楽しい賑わいが生まれました。和風ベンチや噴水の設置など、市、市民団体、関係事業者と連携しておもてなし空間づくりの社会実験を重ね、誰もが心地よく滞在できる空間を追求しています。

02 屋内型文化交流「まちタネ LABO」でのアートとの融合



市町の旧田村医院を拠点に、アートイベント「KoMoro-Mori-More2025（コモロ・モリ・モア）」を開催。特設サイトを開設して作品展示や漆塗り体験を実施。参加型演劇「マジワリズム」や「ハイカラ・ファッションショー」など、屋内空間を活かした最先端のアートプロジェクトが市民と観光客を魅了しました。

■ 坂道の多い城下町をスイスイ回遊！ EV 小型モビリティ「egg」



道路幅が比較的狭く、坂の多い小諸のまちを快適に、楽しく巡ることができる低速の EV3 輪カート「egg」の導入社会実験を実施。

【春】5/3 ～ 6/7 の土日に運行
900 名が乗車！旧北国街道沿いの魅力的な 12 店舗へ送客し、回遊性を向上。

【秋】10/25 ～ 11/16 に運行
1,344 人が乗車！街歩きイベントと連携し、まちなかへの回遊・滞在を促進しました。